

忘れません！！

岩手コース参加

大林 正平

滋賀に住むわたしにとって、東北地方は、北海道よりも遠く感じ、また、足を運ぶ機会がなく、どのようなところかメディアでしか知らないところでした。それが、3年前の3月想像を絶する光景が報じられ、とんでもない出来事が起こったことを知ることとなりました。

ちょうどあの3月11日は、退職を前にして妻と四国に旅行に出かけていました。徳島祖谷のかずら橋を渡り終えたとき、既に渡り終えていた観光客の多くの方々が携帯電話を取りだし、「大丈夫か?」「被害はないか?」などの確認をしておられました。これは東京方面で大きな地震が起こったと思い車に戻りラジオをつけると、東北沖で巨大な地震が発生し津波警報が各地で出されていました。その後高知のホテルで見たあの映像はどんな想像力をはたらかせても信じられないものでした。あれから人間の無力感をずっと感じ続けました。

体力のない私にとって何かできることは、東北を訪れることぐらいしかありません。その年の10月釜石に足を運びました。瓦礫は大分かたづけられていましたが、津波のエネルギーの大きさはこの光景を見て初めてわかるものでした。ほとんどの家の1階部分は全壊、堤防に行けば大きな船が陸に乗り上げており、人間の作った物は如何に弱いかを実感しました。

今回幸運にもこのツアーに参加することができ、復興の状況を確認することができました。どうか一刻も早く街が再生され、人々が戻り、ふるさとが活気づくことを祈ります。それには私たちひとりひとりがこの事実を忘れないことが大切です。

東北は、温泉・果物・海山の幸・関西にはない景色等々素晴らしいものが一杯あります。この幸を私ひとりだけでなく、多くの方と何度も味わいたいと思います。

このツアーでお世話になりました方々に心より感謝いたします。